

ICTリテラシー実態調査について

調査の目的

インターネットやSNS上の偽・誤情報やICTリテラシーに関する実態を把握し、ICTリテラシー向上の取組の推進に活用するために実施

調査概要

調査対象 : 5,640名 、 全国47都道府県×15歳以上（10・20・30・40・50・60代以上）×男女
調査方法 : 全国インターネット定量調査
調査期間 : 2026年5月8日～2026年5月13日
調査協力 : 鳥海 不二夫 教授（東京大学大学院工学系研究科）
山口 真一 教授（国際大学グローバル・コミュニケーション・センター）

主要調査項目

偽・誤情報やICTリテラシーに関する利用者の実態把握等

偽・誤情報に対する実態把握等

提示ニュース真偽判定
提示ニュースの拡散経験
提示ニュースの拡散理由
提示ニュースに対して立ち止まって考えた経験
立ち止まって考えた際の行動
立ち止まって考える意向
偽・誤情報に対する認識
認知バイアスの認知・実感

ICTリテラシーに関する実態把握等

ICTリテラシーに関するテスト
ICTリテラシーに対する自己評価
ICTリテラシー向上のための取組状況
ICTリテラシー向上のための取組の非実施理由
ICTリテラシー向上のための素材・サービス評価
安心できる情報社会づくりに向け各組織・団体に期待すること

集計について

総務省統計局「令和2年国勢調査」の人口構成比を基にウェイトバックを行い調整

調査実施における補足

総務省では2025年5月に実態調査を行った。本調査は2025年の調査の枠組みを継承しつつも、調査対象のサンプルや内容を刷新した。

参考資料：ICTリテラシーテスト

Q1 次のうち、正しいものをすべてお選びください。

- a. 意図的に作られた虚偽の情報のみが、二セ・誤情報とみなされる
- b. 二セ・誤情報は、内容の正確性よりも感情を刺激する要素が強いため、真実・事実よりも拡散されやすい
- c. 面白くない情報、興味をひかない情報を二セ・誤情報と呼ぶ
- d. 人々の善意や正義感を利用することで、二セ・誤情報は広まりやすくなる
- e. この中に正しいものはない

正解 b,d

Q2 次のうち、正しいものをすべてお選びください。

- a. 一部の事実を含んでいる情報であれば、誤りを含んでも二セ・誤情報とはみなされない
- b. 企業の公式発表は、事実に基づいているため常に信頼できる
- c. グラフは、作成者の意図によって異なる印象を与えることがある
- d. 統計データを意図的に誤解させるような形で利用した二セ・誤情報が存在する
- e. この中に正しいものはない

正解 c,d

Q3 次のうち、正しいものをすべてお選びください。

- a. SNSの投稿内容を見れば、世間の動きや意見を客観視できる
- b. SNSのアルゴリズムは、特定の傾向を持つ情報を優先的に表示することがあり、それが二セ・誤情報の拡散に影響を与える可能性がある
- c. ネットのニュースは、ユーザーの関心や行動履歴に基づいて異なる記事が表示されることがある
- d. 多くのSNSでは、ユーザーが関心を持つ情報が優先的に表示されるため、似たような意見ばかり目にする傾向がある
- e. この中に正しいものはない

正解 b,c,d

Q4 次のうち、正しいものをすべてお選びください。

- a. 広く拡散されている情報は信頼性が高い
- b. ある情報について、その分野の専門家による事実に基づいた見解は信頼性が高い
- c. 情報の出典が明確でない情報は特に慎重に検証する必要がある
- d. 身近な人（家族や友人）からの情報は信頼してよい
- e. この中に正しいものはない

正解 b,c

Q5 次のうち、正しいものをすべてお選びください。

- a. 情報の出典を確認し、より信頼性が高い情報源を参照することが望ましい
- b. ある情報について、異なる視点や反論がある場合、それらを確認することで情報の正確性をより確認できる
- c. 人命にかかわる情報を見たら、すぐに拡散すべきである
- d. 混乱しないため、最初に見た1つの情報源を優先することが望ましい
- e. この中に正しいものはない

正解 a,b

参考資料：ICTリテラシーテスト正答率

リテラシーテストの正答率 (年代別)

		(%)				
		Q 1 正 解	Q 2 正 解	Q 3 正 解	Q 4 正 解	Q 5 正 解
	n=					
全体	(5,640)	37.6	36.2	21.7	25.4	40.0
10代	(846)	35.2	30.7	20.4	35.5	41.5
20代	(986)	41.4	41.7	21.2	30.8	41.7
30代	(983)	37.3	35.5	21.4	25.7	37.9
40代	(945)	34.5	30.0	19.3	20.6	33.8
50代	(940)	39.3	38.9	24.8	24.4	37.7
60代	(658)	37.2	36.6	23.6	23.3	44.0
70代	(282)	38.6	39.1	19.0	27.4	46.4

基数：全体

Q. 次のうち、あなたが、正しいと思うものをすべてお選びください。 ※具体的なテストの内容については17ページ参照

リテラシーテストの正答率 (偽・誤情報の拡散経験及び真偽判断精度別)

※ 真偽判断精度（実態）：
提示した7つの偽・誤情報と
8つの正しい情報の判断精度により分類
HH：60%以上
H：40%以上60%未満
M：20%以上40%未満
L：20%未満

			(%)				
※ 真偽判断精度（実態）： 提示した7つの偽・誤情報と 8つの正しい情報の判断精度により分類 HH：60%以上 H：40%以上60%未満 M：20%以上40%未満 L：20%未満			Q 1 正 解	Q 2 正 解	Q 3 正 解	Q 4 正 解	Q 5 正 解
n=							
全体		(5,640)	37.6	36.2	21.7	25.4	40.0
偽・誤 拡散経験別 （実態）	拡散あり（実態）計	(476)	30.6	25.1	15.9	21.6	29.8
	拡散なし（実態）計	(1,508)	50.3	48.1	29.2	32.4	54.3
真偽判断 精度別 （実態）	真偽判断精度HH	(821)	56.5	50.9	36.3	35.4	63.0
	真偽判断精度H	(1,138)	43.4	41.7	23.8	29.8	43.6
	真偽判断精度M	(1,820)	34.7	35.0	18.5	24.0	37.6
	真偽判断精度L	(1,861)	24.9	24.3	14.6	17.6	25.8

基数：全体

Q. 次のうち、あなたが、正しいと思うものをすべてお選びください。 ※具体的なテストの内容については17ページ参照

参考資料：提示した情報

調査内で提示した情報は以下の15項目であり、偽・誤情報はこのうち1-7（8-15は正しい情報）

提示した情報	
1.	スウェーデンは、刑務所に収監されている囚人のうち98%が移民である
2.	ファイザー社が、新型コロナワクチンで大腸がんになると認めた
3.	海外のショッピングモールで、トランスジェンダー風の人物が女性用トイレに入ろうとして、制止する男性と口論になった
4.	外国人は、日本の国民健康保険や生活保護などの社会保障にただ乗りしている
5.	日本が、イスラム教のモスク建設やブルカの着用などを禁じる「反イスラム法」を制定した
6.	イランが、ドバイのCIA本部を標的とした爆撃を行った
7.	自閉症の子供が増えている原因には、0-3歳までに母親が接する時間が関わっている（自閉症の子供の増加は母親と接する時間が減ったからである）
8.	日銀は金融政策決定会合で大規模金融緩和策を維持することを決めた
9.	総務省は2026年2月の消費者物価指数が前年同月比で上昇したと発表した
10.	厚生労働省は、昨シーズンのインフルエンザ患者数について、2026年2月中旬時点で減少傾向にあると発表した
11.	2026年冬シーズンの新型コロナの感染状況について専門家会合は落ち着いた状態が続いていると分析した
12.	南海トラフ地震を想定した政府の防災訓練が公開された
13.	政府は2026年度予算案を衆議院で可決し、参議院に送付した
14.	アメリカと中国は、気候変動対策をめぐる協議を再開することで合意した
15.	全国で相次ぐ特殊詐欺被害を受け、警察庁は注意喚起を強化すると発表した

※上記の1-7は、過去に流通したものであって、ファクトチェック機関（[日本ファクトチェックセンター \(JFC\)](#)）が、偽・誤情報と判定・公表したのから選定している。